

各 位

電気化学工業株式会社

高速鉄道向けパワーモジュール用高信頼性放熱プレート「アルシンク®」 大連新工場竣工のお知らせ

電気化学工業株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉高紳介、以下「当社」）は、8月3日、中国大連において「アルシンク®」新工場を竣工いたしましたのでお知らせいたします。今後、電化電子材料(大連)有限公司（Denka Electronic Materials Dalian Co., Ltd.（以下「DEMD」）にて運営を担い、現地生産化を推進してまいります。

「アルシンク®」は、平成14（2002）年に当社が開発したアルミと炭化珪素を複合させた金属複合材料（MMC：Metal Matrix Composite）で、高い放熱特性を有し、軽量かつ高強度で、環境温度の変化に強いことから、高速鉄道車両のモーターを制御するインバーターのパワーモジュールの放熱プレートとして使用されています。

安全で輸送力が高い高速鉄道は、経済成長が進む新興国だけでなく、優れた環境特性を期待する先進国においても数多くの建設計画があり、今後長期にわたる堅調な成長が見込まれています。省エネルギー技術を支えるインバーターで使用される「アルシンク」においても、安定供給と技術的なニーズは高まっていることから、当社は大牟田工場（福岡県）に続く第二の生産拠点として、近年、高速鉄道車両の生産工場の集積がすすむ中国において、新工場建設を進めておりました（※1）。

8月3日のDEMDで竣工式が、金普新区管理委員会の張主任を始めとする中国政府関係者の皆さま、建設工事関係者、工場運営をご支援いただく関係者の皆さまご出席の下開催され、引き続き市内のホテルで開催された披露パーティーには、需要家、金融関係などの皆さまにもご出席いただきました。

竣工式では吉高社長より、DEMDの設立から新工場の建設まで多大なご支援いただいた皆さまへ深い感謝をお伝えするとともに、高い品質と信頼性が求められる高速鉄道のパワーモジュールの需要拡大に確実に応えながら、中国の社会の発展に積極的に尽していく決意を表明いたしました。

当社は経営計画「Denka100」の成長戦略の一つとして「生産体制の最適化」を掲げております。今後も海外向け製品の現地生産化と、地域に根ざした製品事業を展開することで、より一層の競争力強化を図ってまいります。



<DEMD新アルシンク工場の外観>



<竣工式の様子>

<ご参考>

※1 平成26年7月14日付ニュースリリース：

高速鉄道向けパワーモジュール高信頼性放熱プレート「アルシンク®」中国新会社設立
及び新工場建設のお知らせ

http://www.denka.co.jp/news/pdf/20140714_Alsink.pdf

以上

【本件に関する問い合わせ先】

CSR・広報室 03-5290-5511